



2022年3月23日

各位

会社名 児玉化学工業株式会社
 代表者名 代表取締役社長 坪田 順一
 (コード：4222、東証第2部)
 問合せ先 経理財務部長 横山 治男
 (TEL. 050-3645-0121)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向等を踏まえ、2021年8月12日に公表しました2022年3月期の業績予想を下記の通り修正致しますのでお知らせいたします。

1. 業績予想の修正について

(1) 2022年3月期通期連結業績予想の修正(2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 15,180	百万円 950	百万円 870	百万円 630	円 銭 80.89
今回修正予想 (B)	14,820	650	580	390	51.36
増減額 (B-A)	△360	△300	△290	△240	—
増減率 (%)	△2.4	△31.6	△33.3	△38.1	—
(ご参考)前期実績 (2021年3月期)	13,768	508	351	350	48.52

(2) 2022年3月期通期個別業績予想の修正(2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 9,470	百万円 680	百万円 560	百万円 540	円 銭 69.33
今回修正予想 (B)	9,170	400	290	280	35.95
増減額 (B-A)	△300	△280	△270	△260	—
増減率 (%)	△3.2	△41.2	△48.2	△48.1	—
(ご参考)前期実績 (2021年3月期)	8,749	375	285	446	63.15

(3) 修正の理由

2022年3月期通期の業績につきまして、昨年8月の業績予想修正時では新型コロナウイルス感染拡大も落ち着きを見せ始めており、売上高、利益とも順調に推移すると見込んでおりました。しかしながら年度後半以降新型コロナウイルス感染症再拡大の影響や世界的な半導体不足に代表される部品の調達難に起因する主要なお取引先の生産調整等による売上高の減少及び主要原材料である樹脂価格の高騰等、当初の想定以上に収益を圧迫する要因が重なったことが、連結及び個別業績予想を修正する主な要因であります。

対策として各種原価低減及び原材料価格高騰分の販売価格への転嫁を進めておりますが、前回公表時から売上高、利益ともに減少する見込みとなりました。

但し、前期実績に対しては個別業績の当期純利益を除き増収、増益となる見込みであります。

(前期当期純利益には、債務免除益 303 百万円が含まれております。)

(注) 当資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上